

「Think Globally, Act Locally. 地球規模で考え行動は足元からを、日々実践する刈屋建設株式会社」

「いわて環境学習応援隊」は環境問題に関心が高い企業などを登録し、県民の皆さんに活動を周知し、環境学習などに取り組む学校や地域との橋渡しを行う本県独自の取組です。平成 21 年度から始まり、現在 56 の企業・団体が登録し、見学会や出前授業を行っています。今回は、宮古市刈屋に本社を置く刈屋建設株式会社の事業内容、環境の取組を紹介します。

道路建設、維持、治山工事を専門とする建設会社

刈屋建設株式会社は、三陸沿岸道路（復興道路）などの道路建設、ダムなどの治山工事、国道、県道、市道などの道路の維持にかかる工事（冬季間は道路の除雪を含む）を主な業務とする建設会社です。昭和 26 年に創業し 70 年の長きにわたり地域社会への貢献を第一義に、事業を継続してきました。自然、環境に関わる仕事を中心であることから、社の環境方針として「Think Globally, Act Locally. 環境保全と経済活動が両立する持続可能な社会の実現を目指す」をかかげてきました。品質方針としては、「よい仕事を安全に施工し、顧客の信頼を得ること」をあげています。



浄土ヶ浜遊歩道の復旧工事
国立公園内のため、景観を損ね
ないように落石対策を行う



建設工事(治山)
間伐材を利用した谷止工(中身は石)

環境に配慮した工法、施工を常に考慮

震災関連の工事の一つ浄土ヶ浜遊歩道の復旧工事では、国立公園内のため景観に配慮した工法を取り入れました。通常、道路脇の崖の落石対策は壁面をネットで覆いますが、これを使わず、岩を接着させる工法を採用しました。直接目には見えない部分にも配慮し、景観を優先した工法です。治山工事（谷止工）では、ダム表面に間伐材を使用しました。樹木の良好な生育を保つため間伐は不可欠であり、間伐材の活用は、森の循環を促し山の保全につながります。河川工事での濁水の清浄化対策では、カキ殻やヤシ繊維をフィルターとして使用し、放出基準を計測しながら、川の生き物に配慮した作業を行いました。

環境保全の基本である省エネ活動では、巡回時に充電するバックホー（ハイブリット建設機械）の導入により、稼働 1 時間あたり 2 リットルの燃料を削減しています。また、情報化施工を積極的に進め、マシンコントロールブルドーザーによる排土高の自動均質化や、同バックホーでは道路断面をモニター表示させることにより、熟練者でなくとも精度の高い作業を迅速に行うことができます。ドローンを使用した測量や現場の写真撮影では、人の立ち入りが困難な場所での作業の効率化と迅速化に貢献しています。

環境保全・省エネ活動の基本にある人材育成

効率的に建設機械を配置し、作業を円滑に進めるため本社と現場、複数の現場間のコミュニケーションが欠か

せません。現場の数が増えると、コミュニケーション不足になりがちです。工事を効率よく進めるために、工事の工程を会社全体で管理しフォローアップします。その際は、業務に有益な取組か、従業員への過度な負荷はないか、環境負荷が生じていないかを常に検討しています。このため各種のシステムも取り入れました。

環境マネジメントシステム ISO14001 は、平成 12 年に取得以来、維持、更新に努めてきました。燃料、電気、CO₂ 排出量、廃棄物発生量などの数値を常に把握し、法令順守とともに、一連の行動が従業員教育に活かされるかどうかを判断、評価しています。会社の最高責任者・経営者が、環境活動に強い関心を持ち、作業を行う現場と一体となり、環境保全と業務改善に取り組む意欲溢れた会社です。



カキ殻を利用した掘削時の汚濁処理



ヤシ繊維を利用した掘削時の汚水処理

現場巡視には女性社員も参画

安全パトロールの他に、月 1 回女性社員が主体となって衛生パトロールを実施しています。女性の目線で現場を確認し、アルコール消毒液や除菌シートの配布、トイレの掲示の作成等を行いました。男性社員からも「男性ではあまり気づかないところを指摘されて驚いた。以前より現場事務所がきれいになった」と評価を得ています。社員 45 名の中で女性は 3 名ですが、いわて女性活躍認定企業等（ステップ 2）の認定取得など、女性の能力を活用しています。総務課の女性社員は、「建設業は自分の手でものを作り、災害の際は最前線に立つ。地域の皆さんの役に立つこの仕事は本当にやりがいがあるし、面白いと思う」と笑顔で話されていました。



女性社員が作成したトイレ掲示（全現場で掲示中）

地域に必要とされる会社を目指す

「大雨、強風による土砂流出や倒木、河川の氾濫、道路の維持管理は、待ったなしの作業です。緊急時には一番先に現場に駆け付ける、これを念頭に会社の組織体制を整えてきた。地域の存続に貢献する地場の会社、地域の環境に配慮し地域の皆さんに必要とされる会社、背伸びはしないが、継続が大事、道路の維持業務を通じてチームワークは万全、本業の建設業を通じ、地域とともに歩む会社でありたい」代表取締役社長の向井田岳氏は、熱く語って下さいました。

同社では、宮古、盛岡地域に限定し工事現場の環境保護活動の紹介など、講師派遣、見学受入、プログラムの提供を行っています。環境学習の機会として、ぜひご利用ください。

お問い合わせ・刈屋建設株式会社総務課（宮古市刈屋 11-80-3） TEL：0193-72-3211